

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより
からまつ No. 13

令和4年3月24日発行

校長 太田 等

学校の教育目標
知 よく考え表現する子
徳 心豊かで思いやりのある子
体 進んでやりぬくたくましい子

「私はできる！」と 自分に自信を持ち続けて！

太田 等

本日をもちまして令和3年度の全教育活動が修了いたしました。この一年、一人ひとりの子ども達は、様々な活動を通して心身ともに大きく成長したと思います。これも保護者地域の皆様の本校教育に対する深いご理解と多大なご協力のお陰であると御礼申し上げます。

第90回卒業証書授与式を17日に挙行いたしました。高学年としてこの一年、下級生に優しく温かくリーダーシップを発揮してくれた8名の卒業生が涙と笑顔で本校を旅立って行きました。式典は、一昨年度に続いての新型コロナウイルス感染症対策により、列席はPTA会長、ご家族2名まででしたが、在校生からの呼びかけや卒業生からの答辞があることから、コロナ前と変わらない感動的な卒業式でしたとお言葉も頂きました。8名の卒業生にとっては、何よりも素晴らしい門出になったことを心より感謝申し上げます。



私からは、花向けの言葉として次を伝えました。

人生100年時代と言われる中であって、皆さんは実に2100年の世界を見ることが出来ます。しかし、これからの社会はAIやデジタル社会への高速化、地球温暖化やエネルギー問題等により、2050年の未来ですら予測することは不可能だとも言われております。ですが、そうした時代にあったとしても「新しいことに挑戦ができる」というように前向きに捉えていくことが大切です。

昨年開催された東京パラリンピックのメッセージに、「Impossible」ではなく、「I'm possible」とありました。「無理」ではなく「私はできる」という意味です。この2つの違いは、「I」。これだけで「無理」という諦めから「できる」という可能性を表す言葉に変わります。

このメッセージが教えていることは、人は物の見方や捉え方を少し変えるだけで「喜び」にもなれば、「不安」にもなる。見える世界が180度変わるということです。人には誰人にも想像することのできない驚くべき可能性が秘められ、それを引き出す秘訣が「I'm possible」（私はできる）と自分を信じ続けること。卒業する8名の皆さんは、中学校へ進んでも10年先20年先の自分の活躍している笑顔の自分を思い描きながら勇気と努力の道を皆で励まし合って歩いて行かれることを心より念願しております。

緊迫した最近の世界情勢を見るにつけ、生命尊厳という人としての正しい思考で、判断、表現できる人間を育成していくかが、いかに大切であるかということを感じます。指示されなければ行動できない。発想が乏しいなどということは、裏を返せばそういう機会や時間の保障が不十分ということになります。

西春別小学校の子ども達は、どの子も優しく心の穏やかさがあり、たくさんの可能性に満ちています。来年度は一人ひとりの子ども達の「驚くべき可能性を引き出す」ためにも、「I'm possible（私はできる）」と実感のできる教育活動が充実するよう準備して参ります。

繰り返しになりますが、保護者地域の皆様には、この一年本校教育への深いご理解と多大なるご協力を賜りましたことに、心より深く御礼申し上げます。また、引き続き来年度の本校教育活動へのご理解と温かいご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。